

♪ 口田中学校の吹奏楽部による演奏会 ♪



日増しに寒さを感じられる季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋雨前線による長雨が終わり秋晴れとなった11月3日「文化の日」に、今年も口田中学校吹奏楽部の皆様をご招待して“なごみの郷・文化コンサート”を開催致しました。

会場となった“なごみの郷”の地域交流スペースは、利用者様と保護者様で入りきれないほど多くの皆様が来場されました。

1、2年生による初めての演奏ということで、「観客が近くて緊張しますか？」と尋ねると「いいえ。」との返事。なんとも頼もしい言葉！ 春からの半年間「感動」をテーマに放課後や土、日曜日に熱心に練習されてきた自信のあらわれだと感心しました。その言葉通りの堂々とした演奏は、楽しんでもらいたいという気持ちの伝わるものでした。

第1部は、NHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の主題歌“若い広場”から始まり“アンダー・ザ・シー”へと続き若いパワー全開です。

休憩をはさみ、第2部は、利用者様にも馴染みの深い“水戸黄門～ああ人生に涙あり～”や“ふるさと”でしたので、手を叩きながら一緒に口ずさんで歌われる方も多く、満面の笑顔です。



最後は会場からのアンコールに応じて“それゆけ！カープ”の大合唱が会場を包み込み心が一つに通じ合った気がした瞬間でした。

「上手だねえ。」、「もっと聴きたかったねえ。」の声が飛びかい、名残惜しそうに会場を後にされました。

口田中学校吹奏楽部は、「感動」をテーマに掲げ一生懸命練習を重ねてこられたとのこと。心をふるわせる演奏は間違いなく皆様の心に響いたのではないのでしょうか？

おかげさまで芸術の秋に素敵な時間を過ごす事が出来ました。どうも有難うございました。

本格的な寒さに向かう時節柄、風邪など召されませぬようお気を付けて、お元気でお過ごし下さい。

デイサービスセンターなごみの郷 落合 川本 雅恵



第4回ひろしまケアコンテスト 参戦

皆さん、こんにちは。今年も早いもので1年の締めくくりの時期となりましたね。

さて、私ごとですが11月19日(日)に広島市老人福祉施設連盟主催の『第4回ひろしまケアコンテスト』に入浴部門で出場させていただきました。第1回目から先輩方が出場されており、日頃の業務で培ってきた介助技術を発表し技術の高さ、専門性を競うコンテストです。今年には正仁会から2名出場しました。



“昨年の受賞者のトロフィー返還
左から3人目がなごみの郷の水尻ケアワーカー”



“入浴介助競技”

1週間前に課題が発表され、それから先輩方よりアドバイスをいただきながら何度もケア方法を見つめ直しました。ロールプレイングの練習を行う中で、初心に戻り介助方法や声掛けの仕方などを改めて考えることができました。また、利用者様により安全で安心したケアを提供するためのケア方法なども学ぶことができ自分自身の介助技術の向上や自信にも繋がりました。本番はたくさんの方々が来られていて、とても緊張しましたが、自分なりの声掛けと介助方法でやりきることが出来ました。

結果は、敢闘賞をいただくことができました。少し悔しい結果とはなりましたが、賞をいただけてとても光栄で嬉しく思います。これも練習に付き合ってくれた上司の方々

やフロアの先輩方、一緒に頑張った同期のお陰です。

この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。コンテストで学んだことを活かしこれからも日々精進していきたいと思っております。

特別養護老人ホームなごみの郷 3階 佐野 彩華



“広島市老施連藤井会長から
表彰状授与”



トリプルクラウンズ： ナイターリーグ



皆さまこんにちは。なごみの郷ソフトボールチーム「トリプルクラウンズ」です。前号でソウェルクラブ・ソフトボール大会の優勝を報告させていただきました。今号では、平成 27 年～出場させていただいている落合学区体協ソフトボール教室(通称:ナイターリーグ)について報告します。

全4チームあり、5～8月の期間を通し9試合ずつ戦い、勝率を競い合います。落合小学校のグラウンドを借り、土曜日の 20:00 プレイボールです。ちなみに、我々トリプルクラウンズは前年優勝でした。カープ同様連覇をかけた戦いなのでした。

前年覇者として意気揚々と開幕もつかの間、いきなりの 4 連敗を喫してしまいました。昨年王者の勢いはまったくなく、淡々と負けを重ねていきました。そして迎えた 5 戦目、「このままではいけない。」と気合を入れ直しました。すると今までの鬱憤を晴らすかのような猛打爆発。この試合をきっかけに流れは大きく変わったのです。破竹の勢いで 4 連勝し、星を 5 分にもっていきました。ただ、勝ち越しを賭けた最終戦に負けて 4 勝 5 敗と負け越すあたりがまだまだ我々の弱さですね…。

9 試合を戦い終え、結果は 3 位でした。不本意な結果ではありますが、全力で戦い抜いたどれも素晴らしい 9 試合でした。これで今シーズンも全日程が終了です。

我々の年間三大大行事として、①町内ソフトボール大会(5月)、②ナイターリーグ(5月～8月)、③ソウェルクラブ・ソフトボール大会(10月)があります。

来シーズンの目標は、三大大会全制覇です。チーム名の通りトリプルクラウン(三冠)を成し遂げるため、オフもトレーニングに励んでいきたいと思えます。今シーズンも応援ありがとうございました！



トリプルクラウンズ 監督 廣木 佑介

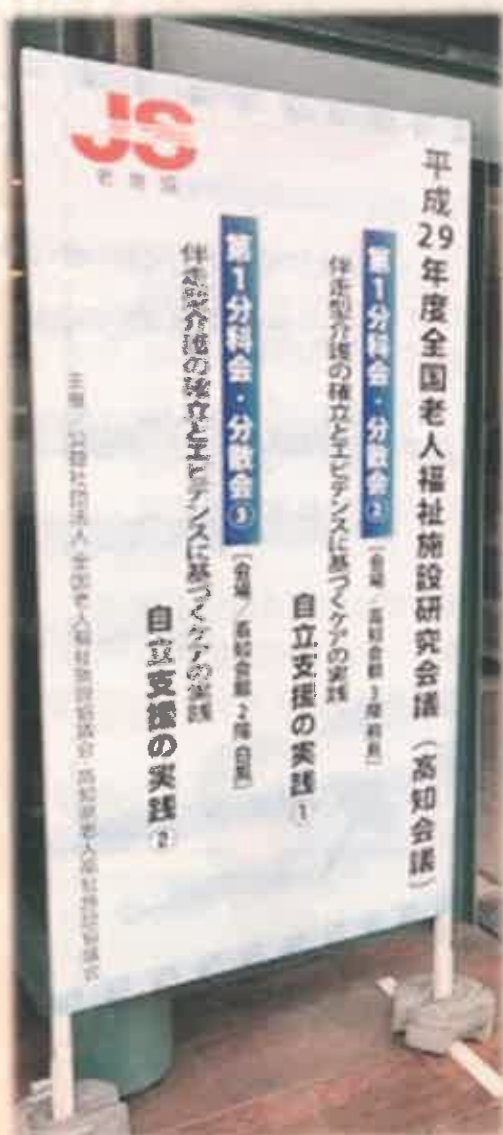
全国老人福祉施設研究会 高知会議

皆さまこんにちは。去る11月17日、18日に全国老人福祉施設研究会[高知会議]に松林施設長をはじめ、私を含めて総勢4名で行って参りましたのでその様子を報告いたします。

日頃は施設の中で働いていますので、遠方に足を運んでの研修参加はある意味、わくわくしていました。まず1日目は基調報告、医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長の「佐々木淳氏」による記念講演『自立支援から看取りまで』、作家の「山本一力氏」による講演『生き方雑記帖(～幕末維新时期における土佐の人間模様～)』が行われました。

記念講演では、看取りとは何か?どうしていくべきなのか?といった点について医療的な観点から考えを学ぶことができました。

次の講演では、山本氏の小中学校の恩師である先生の生き方、幕末期における偉人の生き方を聞かせていただく中で、私たちがどう生きていく必要があるのかを学ぶことができました。



“会場内聴講者”

2日目は、6つの分科会に分かれそのテーマの中で多くの施設による事例研究の発表が行われました。この中で私は第1分科会の発表を聞かせていただきました。その中でも、「生活史と心を探るケア」といった内容が私にとって印象的でした。発表内容は、精神的にふさぎ込み、活気の無かった利用者様が生活史をしっかりと理解し関わりを深く持つことで、生活に対するやる気が出てきて笑顔で過ごされるようになったという内容でした。我々が支援者としてしっかりと情報を把握し関わるのが重要であると感じました。

また、どの発表の内容も1人では達成できるものではなく、職員全員が一丸となって利用者様のことを考え行動する事の重要性を改めて強く感じた1日となりました。

この2日間で学んだ事を活かして精進していきたいと考えておりますので今度とも宜しくお願い致します。



“会場入り口付近”

特養3階 山口 翔二郎

焼き芋大会

皆様こんにちは。去る 10 月 26 日(木)菜園前にて『焼き芋大会』を開催しました。

午前中から準備を始め、利用者様がさつまいもを新聞紙、アルミホイルに包む作業を手伝って下さいました。さつまいもを手になされて、「おっきいね。」「これは色がええわ。」と言いながら…。



午後から焼き始めたさつまいもは 13 時 30 分には出来上がり、利用者様を菜園前までお連れして「さあ！！焼き芋大会の始まりです。」…。大小様々に焼きあがったさつまいもが利用者様のもとに運ばれます。「楽しみにしとったんよ。」と言われる方も多くいらっしゃり、職員も思わず笑顔がこぼれます。

また、今回はより一層秋を堪能していただきたいと思い、焼き芋に加えて『さつま汁』『スイートポテト』を調理いたしました。

1 本をペロリと食べられた利用者様からは「もう1つ頂戴」や「まだ食べてもええ？」と言われる方もいらっしゃり、焼き芋はどんどん口の中へ運ばれていきます。利用者様の食欲旺盛さに、職員もびっくりさせられました。

当日は天候にも恵まれ、秋晴れのもと利用者様の食欲とたくさんの笑顔をみながら、今年も楽しい『焼き芋大会』となりました。



施設の中は高齢化もすすみ(平均年齢 87.2 歳)、私たちもいかに「安全」に食べていただけるかが課題となりますが、実りの秋に新鮮なものを美味しく食べていただけるようにしていきたいと思えます。来年もまた楽しみに待っていて下さいね。

特養 5 階
長弘 久美子

